

政策課題研究7

モニタリング計画策定に向けた放射性物質の挙動予測に関する研究

本県隣接地域における原子力発電所事故の発生を想定した放射性物質のモニタリング計画策定を支援するため、これまで築き上げた拡散予測モデルを活用し、様々な条件下で大気・地表・水質・底質における放射性物質の動向を詳細に予測するほか、この予測から想定される生態系への影響についても検討を進め、拡散状況に即したモニタリングのあり方検討に資する知見を提示します。

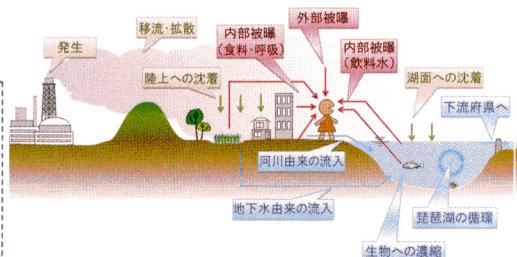
<サブテーマ>

- ・大気シミュレーションモデルによる放射性物質の時系列変化の把握
- ・琵琶湖流域水物質循環モデルによる琵琶湖水環境の時系列変化の把握

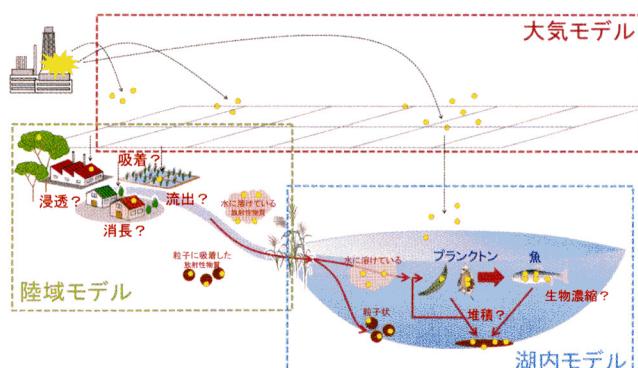
【現状における課題】

- 本県の隣接地域における原子力発電所事故の発生を想定し、放射性物質の拡散状況に即したモニタリング計画が必要

- H23
S
- ・ 大気中への拡散予測
 - ・ 陸域・琵琶湖での挙動予測
 - ・ 陸域・湖面への沈着量予測
 - ・ モニタリング計画策定を支援する詳細な挙動予測の必要性
- H26
S



【課題解決に向けた対応】



① 大気シミュレーションモデルによる放射性物質の時系列変化の把握

- 大気モデルを用いて、
- 気象条件と沈着量の関係を把握

② 琵琶湖流域水物質循環モデルによる琵琶湖水環境の時系列変化の把握

- 琵琶湖モデルを用いて、
- 浄水場周辺地域での放射性物質の挙動を予測
 - 底質・生態系への移行を対象とした予測モデルを構築し、シミュレーションの実施

放射性物質拡散シミュレーションモデルを活用した
モニタリング計画策定を支援する情報の提供